

健診データを用いた家族性高コレステロール血症診断に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院、帝京大学医学部内科学講座、帝京大学公衆衛生学研究科、帝京大学臨床研究センター、三菱商事株式会社診療所では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年7月25日～2026年12月31日

〔研究課題〕

企業健診における家族性高コレステロール血症の早期診断に関する後方視的な検討

〔研究目的〕

LDL(悪玉)コレステロールが生まれつき高く、若年・中年でも心筋梗塞を発症しやすい家族性高コレステロール血症を、健診・検診の血液検査、追加の問診、アキレス腱肥厚の評価によって早期に発見する試みを検証する研究です。

〔研究意義〕

高脂血症の専門施設を受診する患者さんでは、LDLコレステロールが180mg/dL以上であれば家族性高コレステロール血症の確率が高いことが報告されましたが、一般の健診でのデータは少なく、日常診療で診断されないままに放置されている家族性高コレステロール血症の診療に役立つ重要な基礎データになることが期待されます。家族性高コレステロール血症には該当しなくてもLDLコレステロールが高い患者さんが、若いときからどの程度LDL-Cコレステロールが高く、心筋梗塞などの疾患のリスクが高いかについても検証できます。

〔対象・研究方法〕

2014年7月より2023年9月までに企業診療所で健診・検診を受けた方で、LDL(悪玉)コレステロールが180mg/dL以上と高かった方を対象に、追加の問診とアキレス腱が肥厚しているかの診察を行い、日本動脈硬化学会による家族性高コレステロール血症の診断基準に照らして診断しています。

その結果、診断基準を満たした方と満たさなかった方の間で、喫煙や肥満、肝機能などの所見、若年時の健診での脂質検査、現在の治療状況などを比較します。

また、1990年代から2023年9月までに健診・検診を受けた方の血液検査、体重やBMIなどから、健診・検診受診者のうちどの程度に追加検査を行うことができていたかを検証します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院、帝京大学医学部内科学講座、帝京大学臨床研究センター、帝京大学公衆衛生学研究科、三菱商事株式会社診療所

〔個人情報の取り扱い〕

全てのデータは個人が特定できない状態にしてから解析を開始します。結果を学会や論文で発表する際にも、健診受診者個人の情報は一切公開しません。研究終了後のデータは、帝京大学臨床研究センターで10年間保管の後、破棄されます。

対象となる方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究代表者:氏名 原 眞純	職名 主任教授
研究分担者:氏名 磯尾直之	職名 准教授
氏名 高井敦子	職名 助手
氏名 美甘任史	職名 助手
氏名 竹内英之	職名 助手

所属: 帝京大学医学部附属溝口病院
住所: 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1
TEL: 044-844-3333 (代表) [内線 3213]

研究分担者:氏名 伊藤誠悟	職名 所長
---------------	-------

所属: 三菱商事株式会社診療所
住所: 東京都千代田区丸の内 2-3-1 三菱商事ビルディング 3F
TEL: 03-3210-2151